

令和5年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る
研究推進実施計画書

尾道市立高西中学校 校長 吉用 和弘

1 学校経営構想 (別紙)

学校経営目標

心ひとつに未来をつくる～志高く 学びは深く 出会いは広く～
(1)「時を守り，場を清め，礼を尽くす」を全ての教育活動の根底に据える。
(2)計画的・系統的な指導を行い，「知徳体」のバランスのとれた育成を図る。
(3)「報告・連絡・相談」を基本に，全職員が学校運営に積極的に参加し，責任と協力的な指導体制のもと，秩序と活力のある学校づくりを行う。
(4)小中連携を推進し，9年間の系統的な指導を行う。

スクールミッション

中学校区で取り組む「志プロジェクト」の推進

目指す児童生徒像

【15歳の自立と自律】
○自ら考え，判断し，行動する生徒
○違いを受け入れ，よいところを認め，互いに助け合う生徒
○豊かな発想で新たな価値を生み出す生徒

2 教育研究構想 (別紙)

3 研究の概要

(1) 研究主題・副題

「一人一人が輝く主体的な学びの創造」
～特別支援教育の考え方を生かした個別最適な学びの実現を目指して～

(2) 研究主題の設定理由

現代社会は，以前に比べ多くの情報が混在し，多様な選択肢が存在するようになっている。だからこそ，与えられた課題をこなすだけでなく，自ら進む道を決め，なりたい自分を明確にし，実現のための目標と計画を組み立てる力が必要とされる。中学校においては，そうした力を育みながら，自身の個性を伸ばし，強みを生かすことで周囲に貢献できる人材を育成していきたい。

本校では、前年度まで「わかる」「できる」授業の創造を研究主題に定め、様々な取り組みを行ってきた。その結果、生徒が学習に充実感を持ち、落ち着いてじっくりと取り組む姿勢が見られるようになってきた。しかしながら、生徒アンケートなどから、「自ら進んで」学習を組み立てるという主体性を引き出すことは、まだまだ不十分であるといわざるを得ない。このように社会で求められる姿と、本校での課題を踏まえ、今年度の研究主題を「一人一人が輝く主体的な学びの創造」と設定した。

生徒一人ひとりの主体的に輝く姿を引き出すために、教育活動を行うにあたって大切なことは、特別支援教育の考え方にもとづく生徒の実態把握と、そこから学習における生徒のつまずきに対して手立てを考えることである。こうした教員の支援によって、一人ひとりの生徒にとって、より最適な学びが実現できれば、生徒が学習において主体的な姿を見せるようになると考えられる。したがって、研究副題を「特別支援教育の考え方を生かした個別最適な学びの実現を目指して」とした。

(3) 研究のねらい

生徒が主体となる授業を設計し、教員が特別支援教育の考え方を生かした手立てを行うことで、個別最適な学びを実現させ、学力の向上を目指す。

(4) 研究仮説

生徒が主体となって学びを進め、教員が生徒の実態に合わせた最適な手立てを実行することで、学習のねらいを確実に達成し、学力の向上につながるであろう。

(5) 研究内容（研究の方向）

- ① 生徒の主体性を引き出す単元構想・授業設計（単元内自由進度学習の実施）
- ② 生徒の実態分析にもとづく、個別最適な手立ての工夫
- ③ ①～②を取り入れた探究的な学習サイクルを確立することで、学力の向上を目指す。

(6) 検証の指標

- ① 生徒アンケート「授業では、受け身にならず、自分から進んで学習に取り組んでいます」の肯定的評価
- ② 生徒アンケート「授業では、自分たちの特性や達成度、興味・関心に合わせて学習活動に取り組むことができます」の肯定的評価
- ③ 標準学力テスト・実力テスト（3学期実施）

(7) 到達目標

- ①— 75%以上 (前年度末63%)
- ②— 85%以上 (前年度末78%)
- ③— 全国平均+2% (前年度末+0.8%)

4 指導・助言者

氏名	所属・職名等	備考
山口 悠	広島県教育委員会義務教育指導課 指導主事	
川嶋 新平	尾道市教育委員会教育指導課 指導主事	

5 研究計画

月日	研究内容	講師
4月4日	校内研修(研究の概要について) 特別支援教育の考え方	広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 山口 悠 様 尾道市教育委員会教育指導課 指導主事 川嶋 新平 様
5月10日	校内研修(特別支援計画の作成について)	広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 山口 悠 様
5月24日	校内授業研究会・研究協議	広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 山口 悠 様
6月21日	校内授業研究会・研究協議	広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 山口 悠 様
7月12日	校内授業研究会・研究協議	広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 山口 悠 様
7月25日	校内研修(1学期の振り返り)	
8月4日	校内研修(支援計画の評価について) (単元内自由進度学習の協議)	広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 山口 悠 様
8月25日	校内研修(授業公開/2学期にむけて)	
9月8日	授業公開・研究協議	広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 山口 悠 様 尾道市教育委員会教育指導課 指導主事
10月20日	校内授業研究会・研究協議	
11月8日	道徳授業公開・地域貢献活動	

11月22日	校内授業研究会・研究協議	広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 山口 悠 様
12月下旬	校内研修（2学期の振り返り）	
1月	本年度の研究のまとめ	
2月	来年度の計画	

令和5年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る
研究推進予算計画書

尾道市立高西中学校 校長 吉用和弘

費 目		金 額	明 細
節	細 節		
報 償 費	講師報償費	17,250円	招聘講師調整中 5,750円×3時間
	報償費小計	17,250円	
旅 費	講師旅費	4,460円	招聘講師調整中 4,460円
	視察旅費	48,290円	先進校視察（5月以後） 三原市立久井中学校 （日帰り2,485円×2名） 世羅町立世羅中学校 （日帰り2,660円×2名） 廿日市市立宮園小学校 （日帰り8,000円×1名） 視察先調整中（予定30,000円）
	旅費小計	52,750円	
合 計		70,000円	